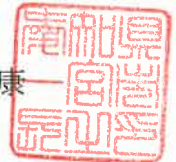


(参考様式第2号)

旧木曾川町地域において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成30年8月28日

一宮市長 中野正康



記

1. 会合の対象とした区域

旧木曾川町地域

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成30年8月23日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	2経営体
個人	9経営体
集落営農（任意組織）	0組織

○ 農地の集積面積

—

4. 今後の地域農業の在り方

・水稲については、既存の地域オペレーターグループである経営体を位置づけ、農地中間管理機構や利用集積円滑化団体を利用して集積化の促進、作業方法の効率化を図る。

・木曾川町地域の特産物である玉葱種子の生産については、生産物の高付加価値化、6次産業化による新商品の開発を図っていく、また組合による研修の実施により収量の増加を図っていく。

・水稲、玉葱採種ともに高齢化が進んでいるため、世代交代や新規就農者の確保に努めていく。

・花き、畜産業においては低コスト化を進め、収益の向上を目指す。